

2024年7月12日

助成事業中間報告

公益財団法人ダイオーズ記念財団
代表理事 大久保 睦 殿

【所属研究機関名称】 武蔵大学

【研究代表者】 経済学部 経営学科 准教授 内藤知加恵

【研究課題名】 日本における障がい者インクルージョン・チャンピオンの認知と行動の解明

【助成事業期間】 2024年1月1日～2024年12月31日

【助成年度前半の研究実績の概要】

本研究は、日本で障がい者インクルージョンにおいて積極的な役割を果たす方（障がい者インクルージョン・チャンピオン）へのインタビュー調査をもとに、チャンピオンの認知と行動を組織行動論の視点から明らかにするものである。

1-3月は、インタビュー어의選定と、対面およびオンラインでのインタビューを実施した。4-6月に共同研究者であるクイーンズ大学ダニエル・サマシュ氏が来日し、研究データの分析と研究打ち合わせを対面で行ったほか、東京と福岡で対面インタビューを実施した。また、武蔵大学経済学部の授業にサマシュ氏がゲスト参加し、日本とカナダの障がいと仕事について、学生とディスカッションを行った。当日の様子は、武蔵大学ゼミブログに掲載されている（7月10日公開）。

https://www.musashi.ac.jp/seminar_blog/economics/mr436c00000058f4.html

さらに、5月11日には、経営行動科学学会（JAAS）国際学術交流セミナー「職場における障がい者インクルージョンセミナー&ワークショップ（What is Disability Inclusion at Work? Seminar and Workshop）」を実施した（主催：経営行動科学学会、協力：ダイオーズ記念財団）。当日の内容は学会公式noteで公開されたほか、全会員向けのニュースレターにて配信した（7月10日配信）。https://note.com/jaas_pr/n/n2c47cff02a73

助成年度後半は、研究計画に基づき、引き続きインタビュー調査を実施し、定性分析をもとに研究結果をまとめる予定である。

以上